



東京日々新聞

八百六十号



神風の伊勢不隣なる志摩の國志高村の殿田富与太郎之
 云者其妻なほ十月十日の朝十時頃産の紐解きんとり
 十二時頃迄女子三人と産とて夫婦の飲び大方あるを能名と
 附んとて或識者高議せし昔白大夫と云る者三男を
 産と賢くも御車税とありし吉例もあれはとて
 おまろおろめおたけとお名づけたる此者成長あるに
 糸車取りて家稼と助るを漁車走らば下不出て營業
 るす決して人カ車税賤夫と本夫とをすの不幸いあるべし
 此頃縣廳より養育金若干と賜りしとぞ

人形屋大先生
 渡辺彫味

一萬齋
 竹方樂

